

福岡市科学館の視察報告について

1 報告

今年度の全国科学博物館協議会（以下、全科協）総会は、平成30年2月15日～16日の日程で福岡市科学館を会場として行われた。福岡市科学館は、昨年10月に開館した全国で最も新しい科学館である。以下に、福岡市科学館の視察内容を報告する。

(1) 福岡市科学館の設置理念

福岡市科学館館長より設置理念等を紹介する講演があった（図1～図4）。

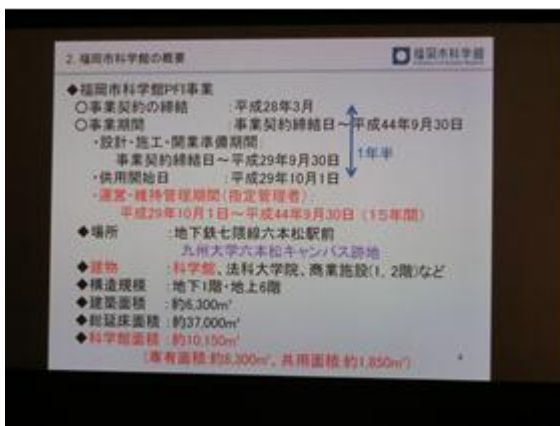


図1 PFI事業について

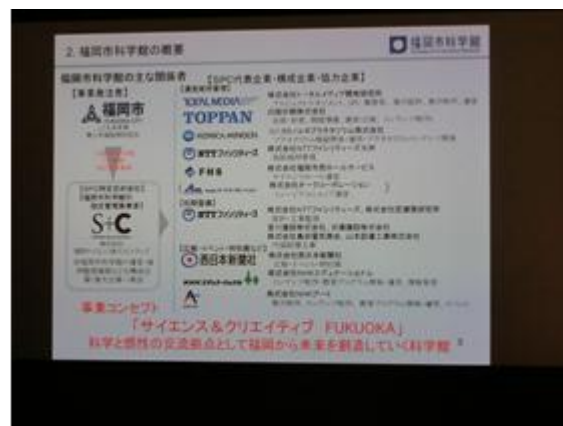


図2 協力企業等について

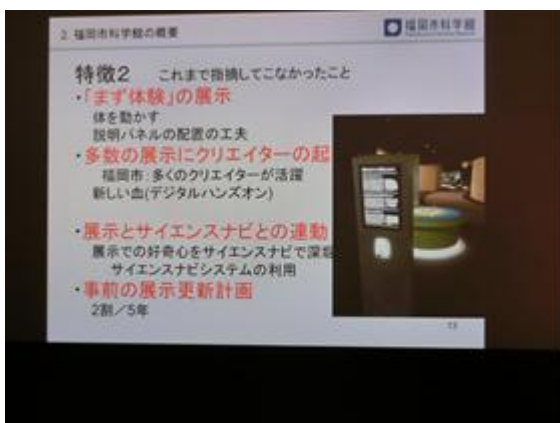


図3 福岡市科学館の特徴

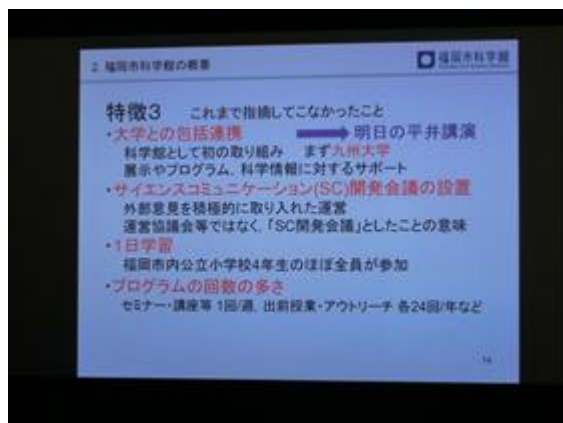


図4 福岡市科学館の特徴

福岡市科学館は、PFI事業により運営されている。ただし、参入業者には設置の方針として地元（在福岡）の企業に優先的に参入してもらうことを条件に事業を進めて開館に至った。館全体のコンセプトとしては、体験を重視し、展示物もほとんどが操作体験できるものとなっている。展示物の構想は、地元のクリエイターを起用している。さらに地域連携として、地域の大学や（小）学校と連携をとって事業を展開している。

(2) 福岡市科学館の展示について

福岡市科学館の展示について、主なものを図5～図14に記載する。

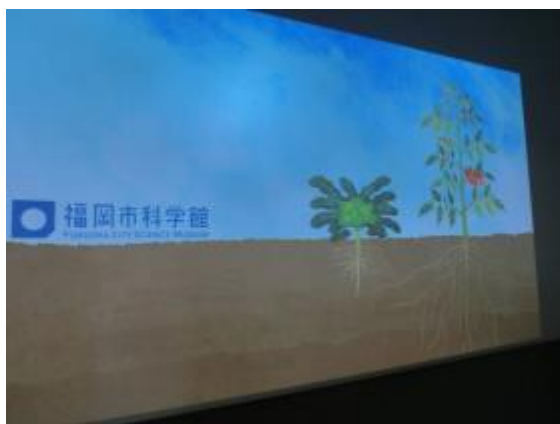


図5 エントランスの Projection Mapping



図6 宇宙がテーマの展示物



図7 展示物のゼロトレナー



図8 深度（深さ）で色が変わる示物



図9 環境テーマの展示物



図10 発電について考える展示物



図 11 耐震・免震・制震の展示物



図 12 ロボットと触れ合う展示物



図 13 ミニシアター（地球の歴史）



図 14 人体に関する展示物

展示室内は、プロジェクターを用いた展示物が主となっており、映像に合わせて操作できる展示物がほとんどであった。「体験しながら学ぶ」というコンセプトを大切にしていると感じた。反面、プロジェクターによる展示が大部分のため、展示室内が暗いと感じた。

2 仙台市科学館の展示リニューアルへ向けて

今回の視察から、展示リニューアルに向けて参考になることとして、プロジェクターを用いた展示物があげられる。当館の特徴としては、実際に展示されている約 3,700 点の展示に代表されるように、実物そのものの展示があげられる。実物の良さを生かしながら、効果的にプロジェクターを取り入れた展示を組み入れていきたいところである。今後の構想段階で展示室レイアウト等を考える際に十分に検討したいと考える。